

2011年2月16日

横浜ゴム、フィリピンで工場建設予定地の借用契約を調印

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、2月12日、乗用車用タイヤ生産販売会社であるヨコハマタイヤ・フィリピン（YTPI）の工場隣接地 30 万㎡に関し、クラーク開発公社（CDC）の間で土地の借用契約を結んだ。横浜ゴムは総額 500 億円を投じ、2017 年までに YTPI の生産能力を現在の年間 700 万本から同 1,700 万本と 2.4 倍に拡大する計画を立てている。

調印式はクラーク特別経済区内のホテルで行われた。横浜ゴムから南雲忠信代表取締役社長、野地彦旬取締役常務執行役員、浜谷孝行 YTPI 社長、CDC からベニグド・リカフォート総裁はじめ幹部多数が出席した。野地取締役による横浜ゴムの 2017 年に売上高 1 兆円を目指すグローバル事業戦略、浜谷社長による YTPI 拡張計画の概要説明の後、リカフォート CDC 総裁が挨拶し、その中でベニグノ・アキノ 3 世フィリピン大統領のメッセージが読み上げられた。

メッセージでは、YTPI による長年に渡るクラーク特別経済区への投資によって現在 2,000 人の雇用が創出され、今回のタイヤ工場拡張によって新たに 3,000 人の雇用が生まれることへの感謝、また今後とも長きに渡る協力と友好関係を結ぶことへの期待などが述べられた。

YTPI は、1996 年、輸出向け乗用車用タイヤの生産拠点として設立された。現在、内径 13～18 インチの乗用車用及び SUV 用タイヤを生産し、その大半を欧州、北米、ASEAN 諸国に市販用タイヤとして輸出しており、北米、アジア諸国の自動車メーカーにも OEM 納入している。YTPI は初めてクラーク特別経済区に進出した国際企業。経済、社会貢献、環境保護活動が高く評価されており、CDC から 2009 年、2010 年と 2 年連続して総合優秀賞を受賞している。



調印式で握手する南雲忠信横浜ゴム社長とベニグド・リカフォート CDC 総裁

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部 担当：石塚
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570